

### 1 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3972100337		
法人名	社会福祉法人 香南会		
事業所名	グループホーム せんだんの里		
所在地	高知県香南市野市町中ノ村770番地1		
自己評価作成日	平成28年10月19日	評価結果 市町村受理日	平成29年2月16日

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

施設の近隣に、保育園、幼稚園、小学校があり、運動会やお遊戯会などの行事へ利用者の参加が恒例となっている。子供たちの元気な声に入居者の方が和める場所となっている。地域の行事へも積極的に参加し、地域住民の方との交流も継続しており、気軽に挨拶や会話もできている。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaijokensaku.jp/39/index.php?action_kouhyou_detail_2016_022_kihon=true&amp;JkyosyoCd=3972100337-00&amp;PrefCd=39&amp;VersionCd=022">http://www.kaijokensaku.jp/39/index.php?action_kouhyou_detail_2016_022_kihon=true&amp;JkyosyoCd=3972100337-00&amp;PrefCd=39&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	高知県社会福祉協議会
所在地	〒780-8567 高知県高知市朝倉戊375-1 高知県立ふくし交流プラザ
訪問調査日	平成28年11月17日

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所は、保育園・幼稚園・小学校に隣接し、周辺道路の交通量も少なく、民家や田畑のほか事業所の名前の由来である大きな「せんだんの木」がある、静かな環境に立地している。

事業所は地域の一員として、地区行事や災害対策などに積極的にに関わり、利用者が事業所の周囲を一人で散歩していても、住民が気軽に声を掛け安全へ気を配ってくれている。隣接の保育園や幼稚園、小学校から入学式や卒業式、四季の行事には必ず招待され、利用者は子供たちと家族のような関係を持ち、事業所理念に掲げる「地域とのふれあいの中で、近隣から親しまれ愛されるホームを目指す」ことを実践している。

職員の対応は礼儀正しく、利用者によりゆったりと接し、声のトーンや言葉の掛け方、相手の話を最後まで聞いて発言するなど、基本的なケアを徹底している。

利用者の急変や体調不良時、看取り時には、協力医療機関による訪問診療がいつでも対応できる体制を整備している。

# 自己評価および外部評価結果

ユニット名: すいせん

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	<b>○理念の共有と実践</b> 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「愛と笑顔と思いやり」という基本理念のもと、日々のミーティング等にて管理者・職員は理念に沿ったケアを実践できるように話し合い努めている。	「愛と笑顔と思いやり」の理念を毎月の職員会議で確認するとともに、利用者のサービス計画作成時やモニタリング時に、実践に繋がっているか確認を行い、職員に周知と浸透を図っている。	
2	(2)	<b>○事業所と地域とのつきあい</b> 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事には積極的に参加している。また、定期的に近隣の保育園や幼稚園、小学校とも交流を行っている。	自治会の会議に参加して、事業所の行事や防災訓練などの年間計画を説明し、協力依頼している。また、小学校や保育園、幼稚園の入学式や卒業式、運動会などの行事に参加するとともに、芋ほりや焼き芋会などを学校と合同で実施し交流している。	
3		<b>○事業所の力を活かした地域貢献</b> 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	自治会の総会等にて、気軽に認知症等の相談ができるように事業所としてアピールしている。		
4	(3)	<b>○運営推進会議を活かした取り組み</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で出た意見や検討事項については、日々のミーティングや職員会で報告し、検討している。頂いた意見に対し、実行出来るように取り組みを行い、次の運営推進会議で経過報告している。	会議には、家族や地域代表、市担当課、消防署代表が参加し、事業所の報告について、意見を交換している。防災計画や芋ほりなどの行事の具体的な内容を一緒に検討したり、利用者一人での外出など事業所の危機管理について意見を交換し、行政や地域と認識を共有している。	
5	(4)	<b>○市町村との連携</b> 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議での報告はもちろんのこと、日々のケアで困難事例等、市との連携を図り相談のしやすい関係を築くように努めている。	市の担当職員が、運営推進会議における危機管理や介護計画などの意見を持ちかえり、検討している。過去の事業所の事例をもとに、外出した利用者の搜索訓練を地域の他の介護事業所と合同で実施するなど、事業所と行政が協力関係を築いている。	
6	(5)	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	法人全体での身体拘束のマニュアルを基に、身体拘束をしないケアを実践できるように努めている。また、職員への教育も事業所内で定期的に行い、また法人内の研修へも参加しケアの統一を図っている。	毎年、法人内部の研修や地域で行う研修に参加し、参加職員が伝達して、職員全員に周知している。玄関や居室への出入りは自由にしており、利用者が一人で外出する時は、一緒に付き添っている。言葉による拘束など不適切なケアがあれば、その場で話し合いをするなど、拘束しないケアに取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止法について、随時話をし、虐待の徹底防止に努めている。管理者は職員が利用者との関わる様子にも気を配り、働く側のストレスについても見逃すことのないよう、話をする機会を持つように心掛けている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人制度等が必要な入居者については、管理者が市町村等に出向き、対応する体制をとっている。また、職員にも制度を理解できるように、定期的に勉強会を行っている。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項説明書・入居契約書等を基に、ご家族が不安を持つことのないよう、不明な点はないかを確認しながら説明を行っている。面接時や入居される前にも、事前に出来る説明を出来る限り行うよう努めている。		
10	(6)	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者との日々の関わりの中で、意向を汲み取るようにしている。ご家族様については、来訪時などに意向を聞いたり、意見を言いやすい環境を作っている。運営推進会議にも参加して頂き、市や地域の方に入居者の意見や要望を表せる機会を作っている。	家族会を年4回、週末や夏休みなど家族が参加しやすい日程で開催している。運営推進会議に参加する家族等が事業所の運営状況などを説明し、意見を求めている。また、家族の面会時には、職員が必ず声を掛けて利用者の状況を報告し、希望や意見を聞くようにしている。	
11	(7)	<b>○運営に関する職員意見の反映</b> 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議や日々のミーティング等で、意見を聞くようにしている。また、業務中にも意見を聞き運営に反映させている。	毎月の職員会議や毎日のミーティングで、業務や行事の具体的な内容や役割分担を話し合い、職員の意見や提案を活かしている。また、管理者が個別面談を実施し、職員の勤務の異動や働き方などについて希望を確認している。	
12		<b>○就業環境の整備</b> 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員が無理なく業務をこなせるように、勤務や業務状況の把握に努めている。また、職員の希望を聞きとり、出来る限り勤務表に反映している。勉強会や研修等へ参加できる体制を構築し、向上心を持って働けるようにサポートを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<b>○職員を育てる取り組み</b> 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修へ参加し、得た知識を職員会等を通して情報を共有し、事業所全体のスキルアップに努めている。		
14		<b>○同業者との交流を通じた向上</b> 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内外の研修に参加し、同業者と交流が図れるように努めている。また、交流の際に情報の交換を行うことで、サービスの質の向上に努めている。		
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<b>○初期に築く本人との信頼関係</b> サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	相談時や入居前は事前に、家族や担当職員から情報を得た上で本人と面接し、困っている事が無いか伺い、安心できるように努めている。		
16		<b>○初期に築く家族等との信頼関係</b> サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	申込時に十分な時間を取り、入居に至るまでの経緯について話を聞き、困っていること、不安に思っていること等、家族の立場になって話を伺い、良い関係作りに努めている。		
17		<b>○初期対応の見極めと支援</b> サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	すぐに受け入れが困難な時には、他の施設と連携を図り、紹介するなどの対応を行っている。		
18		<b>○本人と共に過ごし支えあう関係</b> 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	今までの生活の中で入居者様が培ってきた経験や知識を、いろいろと教えてもらうことも多く、一緒に生活することで「おふくろの知恵」を職員が覚えることがある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<b>○本人を共に支えあう家族との関係</b> 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の来訪時や家族会の折には、入居者様の様子や日頃の職員の思いについて伝え、協力いただいている。		
20	(8)	<b>○馴染みの人や場との関係継続の支援</b> 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人の希望により、友人等が面会に来ていただけるよう、ご家族や友人の方に協力して頂いている。入居時には、生活歴や人間関係等の把握に努めている。	入居前の生活の場であった地区の敬老会へ参加して、友人と会話を楽しんだり、生まれ育った場所にドライブに出かけて昔を思い出したり、友人の定期的な訪問で、親交を深めるなど、馴染みの関係が継続できるように支援している。	
21		<b>○利用者同士の関係の支援</b> 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションや定期的な行事等に参加して頂き、活動を通じて入居者様同士、関わりを持つことができている。関係性を考慮した座席配置になっており、トラブル防止にも努めている。		
22		<b>○関係を断ち切らない取組み</b> サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他の事業所に移られた場合は、管理者や職員が出来る限り訪問するよう努めている。また、長期入院等による退居に至っては、その後の経過により事業所の紹介や支援等行っている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	<b>○思いや意向の把握</b> 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎日の会話の中で本人の思いを把握するように努めている。ご家族の来訪時にも話を伺い、本人の把握に努めている。日々の表情や振る舞いを観察し、なんらかの変化があれば対応できるよう努めている。	日々の生活の中で、利用者から何気なく出る言葉や動作をノートに記録し、職員で情報共有することや、家族にこれまでの生活の様子や思いを聞き取り、ケアに活かす工夫をしている。	
24		<b>○これまでの暮らしの把握</b> 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居後の介護に活かすことを説明し、入居前の生活歴や今までのサービス利用状況を伺い、入居後適切な対応が取れるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		<b>○暮らしの現状の把握</b> 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常生活の中で入居者の状態を把握し、心身状態の変化をみている。職員間で共通の認識をもち、援助方法を検討しながら介護するよう努めている。		
26	(10)	<b>○チームでつくる介護計画とモニタリング</b> 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様やご家族様に意向を確認し、職員会にて日々の介護での意見を出し合い、ケアプランに反映できるよう努めている。	事前に家族から希望や気づきなどを聞き取り、利用者の生活状況などの再アセスメントと、職員によるカンファレンスを行い、3カ月ごとに介護計画を見直している。家族から気分転換やドライブを希望する意見が出た場合は、計画に反映できるよう家族の協力も含めて検討している。	事業所の運営に協力的な家族も多いので、今後は家族も介護計画の話し合いに参加できるような体制を検討し、今以上に入居者と家族の関係が強くなることを期待したい。
27		<b>○個別の記録と実践への反映</b> 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録や日誌記録等すべてしっかりと記録し、職員間でも情報の共有が図れている。必要に応じて計画の見直しをしている。		
28		<b>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</b> 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者や家族その時々状況に応じ、ニーズに対応をしている。その人がその人らしい生活ができるよう、介護計画を見直し、また家族が安心して就労や生活が過ごせるよう努めている。		
29		<b>○地域資源との協働</b> 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	市町村紹介のボランティアに、協力をして頂いている。入居者様もボランティアと関わる事で、楽しく豊かに暮らせている。		
30	(11)	<b>○かかりつけ医の受診支援</b> 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医の訪問診療や、病状に応じて専門科への受診対応は行っている。定期的な受信に対しては基本にご家族に依頼しているが、ご家族の都合にて随時職員が対応している。	利用者・家族の希望により、協力医療機関の医師がかかりつけ医となり、月1回の訪問診療と必要時に往診が可能な連携体制を取っている。整形外科や精神科などの専門医は、入居前のかかりつけ医に職員同伴で受診している。受診情報は家族に連絡し、記録により職員間で共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職との協働</b> 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携を取っており、日々の健康管理や体調不良時の報告を行い、随時対応してくれている。また、主治医との連携も密に行っている。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時には、日頃の対応の仕方や様子を情報提供し、入院中は職員が様子を見に行き、回復状況の把握に努めている。また、ご家族とも連絡を取り合い早期退院に向け取り組んでいる。		
33	(12)	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	事業所として看取りの指針があり、看取り介護に取り組む体制ができている。ご家族や主治医・看護等と連携を図り、住み慣れた環境で終末が迎えられるよう努めている。	法人内で看取り介護の研修を行い、看取りが予測される状態になれば、主治医や訪問看護師がいつでも訪問できるよう連携している。家族の同意を得て、事業所内で家族が宿泊可能な体制にして看取りを行っており、28年度にも事例がある。	
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	すべての職員が、救急救命法を受講している。また、職員会でも緊急時の対応等について職員間で徹底を図っている。		
35	(13)	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	マニュアルを作成し、年4回入居者も参加した避難訓練を行っている。地域の防災訓練にも参加し、災害時の協力をお願いしている。	災害避難訓練は、地域合同や事業所独自の訓練を年4回のほか、通報等に関する災害研修を年5回実施している。訓練時は近隣住民が車椅子介助などの避難に協力するなど、地域ぐるみの防災体制を築いている。非常食も3日以上を備蓄している。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	<b>○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保</b> 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	認知症についての勉強会や研修へ参加し専門的な知識を深めることで、一人一人臨機応変に対応できる能力を身につけ実践している。	家族との面談は相談室や居室で行い、個人情報外部に漏れないように配慮している。重介護の入居者も多いが、プライバシーを守り、排泄誘導時などは居室や他の利用者等がいなくて声を掛けることを、職員に徹底している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	希望や思いを引き出せるように、開かれた質問での対応を行い意向に沿えるよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	予定に入っていないご利用者様でも、希望があれば入浴や外出等可能な範囲での対応を行っており、入居者様のペースで生活できるよう支援できている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に理美容の利用を行っており、意向に沿うケアを行っている。衣服もご本人のものを着用され、ご希望があるときには更衣を行い対応している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	配膳や片付け等可能な活動を促し、職員と一緒にやっている。出来た事は入居者様の自信になっている。	献立は管理栄養士が作成しているが、献立の材料を工夫して、個々の入居者の嗜好に沿うようにアレンジして調理している。利用者は野菜の皮むきや洗い物、お茶配りなどを一緒に行い、会話も多く、団らんの雰囲気です。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士の献立により、バランスの取れた食事を提供しており嗜好品も取り入れている。水分摂取もこまめに行い、毎日必要量を無理なく摂取できるよう努めている。また摂取量の記録を行い、状況に応じて形態の検討も行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	声掛けにて口腔ケアを実施できる方でも、口腔内の確認を行っている。また自身で難しい方は介助にて、毎食後のケアが実施できている。義歯消毒は週1回行い、口腔内の清潔保持に努めている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄パターンを把握し、時間誘導や声かけを行い、出来るだけ失禁回数が減り、トイレでの排泄が可能となるよう努めている。また、排泄用品の使い分けをし、自立に向けた取り組みも行っている。	入居者個々の排泄チェック表があり、時間を見計らい、行動や仕草を観察してトイレへ誘導している。オムツ使用の利用者には尿意の確認を続け、排泄の失敗が減れば、布パンツへの移行に向けて、希望するパンツと一緒に買いに行くなど、入居者の自立を促す支援をしている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		<b>○便秘の予防と対応</b> 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取はもちろん、食事の工夫や体を動かす事で、自然排便ができるように取り組んでいる。毎日の排便チェックにて、必要に応じ緩下剤を使用し、便秘の解消を図っている。		
45	(17)	<b>○入浴を楽しむことができる支援</b> 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	毎日入浴できる体制を取っている。日の中で、時間帯を問わず希望に応じて、入浴できるように努めている。	利用者の希望に沿って入浴できる体制にしており、夕方の時間や毎日の入浴などに対応している。また、入浴を拒否する利用者には、一緒に着替えの服を選んだり、時間や日を変えたり、職員を交代するなど、無理強いせず入浴ができる工夫をしている。	
46		<b>○安眠や休息の支援</b> 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体操やレクリエーションへの参加により、日中の活動量を確保することで、夜間良眠出来るように支援している。年齢や体力的に困難な方は静養時間を設け、夜間も睡眠が取れている。		
47		<b>○服薬支援</b> 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者全員の内服内容の一覧を作成し、服薬介助を行う際はマニュアルにそって確認を行いながら、服薬介助をしている。臨時薬等の申し送りも徹底している。		
48		<b>○役割、楽しみごとの支援</b> 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物の整理や食器の洗い物等、可能な活動を促し役割を持ってもらうことで、張り合いのある日常生活が過ごせるよう支援している。		
49	(18)	<b>○日常的な外出支援</b> 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	定期的には外気浴や散歩等の支援を行い、できる限り意向に添えるよう努めている。また、ご家族にも協力していただき、外出や気分転換の機会を設けている。	あじさい等季節の花見、小学校と合同の芋ほりや運動会、敬老会の行事などに、家族の協力も得て外出している。また、事業所横にある畑や近隣への散歩などを日課にし、洋服や日用品などは、入居者自身が選んで購入できるよう外出を支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<b>○お金の所持や使うことの支援</b> 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理が困難な方でも、希望があればできる限り希望に添えるよう、付き添いにて買い物支援を行っている。また、ご家族の方にも依頼し購入していただいている。		
51		<b>○電話や手紙の支援</b> 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望の際には連絡が取れるよう、体制は整えている。手紙等は入居者の方に手渡している。また、ご家族様に出来る限りの面会を依頼している。		
52	(19)	<b>○居心地のよい共用空間づくり</b> 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	室温に注意し、温度設定をしている。日中は自然の明かりや、自然の風等を感じれるよう工夫している。食事も季節の食材を工夫して、提供するなど配慮している。	玄関には、水槽に金魚が飼育され利用者の癒しになっている。また、壁面には芋ほり等の行事の写真、小学生や保育園児からの手紙を掲示している。居間のテレビは、利用者同士で会話ができるよう音量に配慮し、季節の野菜や花を中庭で育て、季節を感じられるよう工夫している。	
53		<b>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</b> 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファを設置し、寛げる場所を提供できている。気の合う入居者同士が指定席にて話をし、楽しく過ごされている。新聞を読んだり、テレビを視聴したり一人になれる時間も持っている。		
54	(20)	<b>○居心地よく過ごせる居室の配慮</b> 居室は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	一人一人の好みに合わせた居室環境を設定し、過ごして頂いている。使い慣れた家具、家族の写真や仏壇に、音楽が好きな方はラジカセを置かれており、それぞれに居心地よく過ごされている。	居室には、入居前に使用していた棚・イスなどが持ち込まれ、移動時につかまりやすいよう配置している。また、家族の写真や小さな仏壇を置いたり、パイプハンガーに毎日着る衣服を選びやすいよう掛けるなど、利用者が自分らしく生活を送れるように工夫している。	
55		<b>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</b> 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	通路へは危険になる物は置かず、十分な通路の確保に努めることができている。手すりや段差のない環境ができ、安全な対応を行っている。場所が分からない時は付き添い、できることを活かしている。		

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目)							
項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)		1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいの			○	2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいの				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	グループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)		1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが			○	2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)		1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

# 自己評価および外部評価結果

ユニット名: ひばり

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	<b>○理念の共有と実践</b> 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「愛と笑顔と思いやり」という基本理念のもと、日々のミーティング等にて、管理者・職員は理念に沿ったケアを実践できるように話し合い努めている。		
2	(2)	<b>○事業所と地域とのつきあい</b> 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事には積極的に参加している。また、定期的に近隣の保育園や幼稚園、小学校とも交流を行っている。		
3		<b>○事業所の力を活かした地域貢献</b> 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	自治会の総会等にて、気軽に認知症等の相談ができるように事業所としてアピールしている。		
4	(3)	<b>○運営推進会議を活かした取り組み</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で出た意見や検討事項については、日々のミーティングや職員会で報告し、検討している。頂いた意見に対し、実行出来るように取り組みを行い、次の運営推進会議で経過報告している。		
5	(4)	<b>○市町村との連携</b> 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議での報告はもちろんのこと、日々のケアで困難事例等、市との連携を図り相談のしやすい関係を築くよう努めている。		
6	(5)	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	法人全体での身体拘束のマニュアルを基に、身体拘束をしないケアを実践できるよう努めている。また、職員への教育も事業所内で定期的に行い、また法人内の研修へも参加しケアの統一を図っている。		
7		<b>○虐待の防止の徹底</b>	高齢者虐待防止法について、随時話をし、虐待の徹底防止に努めている		

		管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待の徹底防止に努めている。管理者は職員が利用者との関わる様子にも気を配り、働く側のストレスについても見逃すことのないよう、話をする機会を持つように心掛けている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人制度等が必要な入居者については、管理者が市町村等に出向き、対応する体制をとっている。また、職員にも制度を理解できるように、定期的に勉強会を行っている。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項説明書・入居契約書等を基に、ご家族が不安を持つことのないよう、不明な点はないかを確認しながら説明を行っている。面接時や入居される前にも、事前に出来る説明を出来る限り行うよう努めている。		
10	(6)	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者との日々の関わりの中で、意向を汲み取るようにしている。ご家族様については、来訪時などに意向を聞いたり、意見を言いやすい環境を作っている。運営推進会議にも参加して頂き、市や地域の方に入居者の意見や要望を表せる機会を作っている。		
11	(7)	<b>○運営に関する職員意見の反映</b> 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議や日々のミーティング等で、意見を聞くようにしている。また、業務中にも意見を聞き運営に反映させている。		
12		<b>○就業環境の整備</b> 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員が無理なく業務をこなせるように、勤務や業務状況の把握に努めている。また、職員の希望を聞きとり、出来る限り勤務表に反映している。勉強会や研修等へ参加できる体制を構築し、向上心を持って働けるようにサポートを行っている。		

13	<p><b>○職員を育てる取り組み</b></p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内外の研修へ参加し、得た知識を職員会等を通して情報を共有し、事業所全体のスキルアップに努めている。</p>		
14	<p><b>○同業者との交流を通じた向上</b></p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>法人内外の研修に参加し、同業者と交流が図れるように努めている。また、交流の際に情報の交換を行うことで、サービスの質の向上に努めている。</p>		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15	<p><b>○初期に築く本人との信頼関係</b></p> <p>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>相談時や入居前は、事前に家族や担当職員から情報を得た上で本人と面接し、困っている事が無いか伺い、安心できるように努めている。</p>		
16	<p><b>○初期に築く家族等との信頼関係</b></p> <p>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>申込時に十分な時間を取り、入居に至るまでの経緯について話を聞き、困っていること、不安に思っていること等、家族の立場になって話を伺い、良い関係作りに努めている。</p>		
17	<p><b>○初期対応の見極めと支援</b></p> <p>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>すぐに受け入れが困難な時には、他の施設と連携を図り、紹介するなどの対応を行っている。</p>		
18	<p><b>○本人と共に過ごし支えあう関係</b></p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>今までの生活の中で入居者様が培ってきた経験や知識を、いろいろと教えてもらうことも多く、一緒に生活することで「おふくろの知恵」を職員が覚えることがある。</p>		

19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご家族の来訪時や家族会の折には、入居者様の様子や日頃の職員の思いについて伝え、協力いただいている。</p>		
20	(8)	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>ご本人の希望により、友人等が面会に来ていただけるよう、ご家族や友人の方に協力して頂いている。入居時には、生活歴や人間関係等の把握に努めている。</p>		
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>レクリエーションや定期的な行事等に参加して頂き、活動を通じて入居者様同士、関わりを持つことができている。関係性を考慮した座席配置になっており、トラブル防止にも努めている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>他の事業所に移られた場合は、管理者や職員が出来る限り訪問するよう努めている。また、長期入院等による退居に至っては、その後の経過により事業所の紹介や支援等を行っている。</p>		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>毎日の会話の中で、本人の思いを把握するように努めている。ご家族の来訪時にも話を伺い、本人の把握に努めている。日々の表情や振る舞いを観察し、なんらかの変化があれば対応できるよう努めている。</p>		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居後の介護に活かすことを説明し、入居前の生活歴や今までのサービス利用状況を伺い、入居後適切な対応が取れるよう努めている。</p>		

25		<p><b>○暮らしの現状の把握</b></p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>日常生活の中で入居者の状態を把握し、心身状態の変化をみている。職員間で共通の認識をもち、援助方法を検討しながら介護するよう努めている。</p>		
26	(10)	<p><b>○チームでつくる介護計画とモニタリング</b></p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>ご本人様やご家族様に意向を確認し、職員会にて日々の介護での意見を出し合い、ケアプランに反映できるよう努めている。</p>		
27		<p><b>○個別の記録と実践への反映</b></p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>介護記録や日誌記録等すべてしっかりと記録し、職員間でも情報の共有が図れている。必要に応じて計画の見直しをしている。</p>		
28		<p><b>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</b></p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>利用者や家族のその時々状況に応じ、ニーズに対応している。その人がその人らしい生活ができるよう、介護計画を見直し、また家族が安心して就労や生活が過ごせるよう努めている。</p>		
29		<p><b>○地域資源との協働</b></p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>市町村紹介のボランティアに、協力をして頂いている入居者様もボランティアと関わる事で、楽しく豊かに暮らせている。</p>		
30	(11)	<p><b>○かかりつけ医の受診支援</b></p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>主治医の訪問診療や病状に応じて専門科への受診対応は行っている。定期的な受信に対しては基本的にご家族に依頼しているが、ご家族の都合にて随時職員が対応している。</p>		



31		<p><b>○看護職との協働</b></p> <p>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>医療連携を取っており、日々の健康管理や体調不良時の報告を行い、随時対応してくれている。また、主治医との連携も密に行っている。</p>		
32		<p><b>○入退院時の医療機関との協働</b></p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院時には、日頃の対応の仕方や様子を情報提供し、入院中は職員が様子を見に行き、回復状況の把握に努めている。また、ご家族とも連絡を取り合い早期退院に向け取り組んでいる。</p>		
33	(12)	<p><b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b></p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>事業所として看取りの指針があり、看取り介護に取り組む体制ができている。ご家族や主治医・看護等と連携を図り、住み慣れた環境で終末を迎えられるよう努めている。</p>		
34		<p><b>○急変や事故発生時の備え</b></p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>すべての職員が、救急救命法を受講している。また、職員会でも緊急時の対応等職員間で徹底を図っている。</p>		
35	(13)	<p><b>○災害対策</b></p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>マニュアルを作成し、年4回入居者も参加した避難訓練を行っている。地域の防災訓練にも参加し、災害時の協力をお願いしている。</p>		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	<p><b>○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保</b></p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>認知症についての勉強会や研修へ参加し、専門的な知識を深めることで、一人一人臨機応変に対応できる能力を身につけ実践している。</p>		

37		<p><b>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</b></p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>希望や思いを引き出せるように、開かれた質問での対応を行い意向に沿えるよう努めている。</p>		
38		<p><b>○日々のその人らしい暮らし</b></p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>予定に入っていないご利用者様でも、希望があれば入浴や外出等可能な範囲での対応を行っており、入居者様のペースで生活できるよう支援できている。</p>		
39		<p><b>○身だしなみやおしゃれの支援</b></p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>定期的に理美容の利用行っており、意向に沿うケアを行っている。衣服もご本人のものを着用され、ご希望があるときには更衣行い対応している。</p>		
40	(15)	<p><b>○食事を楽しむことのできる支援</b></p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>配膳や片付け等可能な活動を促し、職員と一緒にしている。出来た事は入居者様の自信になっている。</p>		
41		<p><b>○栄養摂取や水分確保の支援</b></p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>管理栄養士の献立により、バランスの取れた食事を提供しており、嗜好品も取り入れている。水分摂取もこまめに行い、毎日必要量を無理なく摂取できるよう努めている。また摂取量の記録を行い、状況に応じて形態の検討も行っている。</p>		
42		<p><b>○口腔内の清潔保持</b></p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>声掛けにて口腔ケアを実施できる方でも、口腔内の確認を行っている。また自身で難しい方は介助にて、毎食後のケアが実施できている。義歯消毒は週1回行い、口腔内の清潔保持に努めている。</p>		
43	(16)	<p><b>○排泄の自立支援</b></p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている</p>	<p>排泄パターンを把握し、時間誘導や声かけを行い、出来るだけ失禁回数が減り、トイレでの排泄が可能となるよう努めている。また、排泄用品の使い分けをし、自立に向けた取り組みも行っている。</p>		

44		<p><b>○便秘の予防と対応</b></p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>水分摂取はもちろん、食事の工夫や体を動かす事で、自然排便ができるように取り組んでいる。毎日の排便チェックにて、必要に応じ緩下剤を使用し便秘の解消を図っている。</p>		
45	(17)	<p><b>○入浴を楽しむことができる支援</b></p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている</p>	<p>毎日入浴できる体制を取っている。日の中で、時間帯を問わず希望に応じて入浴できるように努めている。</p>		
46		<p><b>○安眠や休息の支援</b></p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>体操やレクリエーションへの参加により、日中の活動量を確保することで、夜間良眠出来るように支援している。年齢や体力的に困難な方は、静養時間を設け夜間も睡眠が取れている。</p>		
47		<p><b>○服薬支援</b></p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>入居者全員の内服内容の一覧を作成し、服薬介助を行う際はマニュアルにそって確認を行いながら、服薬介助をしている。臨時薬等の申し送りも徹底している。</p>		
48		<p><b>○役割、楽しみごとの支援</b></p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>洗濯物の整理や食器の洗い物等、可能な活動を促し役割を持ってもらうことで、張り合いのある日常生活が過ごせるよう支援している。</p>		
49	(18)	<p><b>○日常的な外出支援</b></p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している</p>	<p>定期的に外気浴や散歩等の支援を行い、できる限り意向に添えるよう努めている。また、ご家族にも協力していただき外出や気分転換の機会を設けている。</p>		

50		<p><b>○お金の所持や使うことの支援</b></p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭管理が困難な方でも、希望があればできる限り希望に添えるよう、付き添いにて買い物の支援を行っている。また、ご家族の方にも依頼し購入していただいている。</p>		
51		<p><b>○電話や手紙の支援</b></p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>希望の際には連絡が取れるよう、体制は整えている。手紙等は入居者の方に手渡している。また、ご家族様に出来る限りの面会を依頼している。</p>		
52	(19)	<p><b>○居心地のよい共用空間づくり</b></p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>室温に注意し、温度設定している。日中は自然の明かりや、自然風等を感じれるよう工夫している。食事も季節の食材を工夫して、提供するなど配慮している。</p>		
53		<p><b>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</b></p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ソファを設置し、寛げる場所を提供できている。気の合う入居者同士が指定席にて話をし、楽しく過ごされている。新聞を読んだり、テレビを視聴したり一人になれる時間も持てている。</p>		
54	(20)	<p><b>○居心地よく過ごせる居室の配慮</b></p> <p>居室は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>一人一人の好みに合わせた居室環境を設定し、過ごして頂いている。使い慣れた家具、家族の写真や仏壇に、音楽が好きな方はラジカセを置かれており、それぞれに居心地よく過ごされている。</p>		
55		<p><b>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</b></p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>通路へは危険になる物は置かず、十分な通路の確保に努めることができている。手すりや段差のない環境ができ、安全な対応を行っている。場所が分からない時は付き添い、できることを活かしている。</p>		

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目)							
項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)		1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらい			○	2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらい				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	グループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)		1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが			○	2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、生き生きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)		1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが			○	2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				